記者発表

平成２８年７月７日
国土交通省東北地方整備局
最上川ダム統合管理事務所

低気圧に伴う降雨における
寒河江ダムの防災操作（洪水調節）効果について

～　ダムによる水位低減効果　約５９センチ　～

最上川ダム統合管理事務所管内では、低気圧に伴う降雨により平成２８年７月６日から７日にかけて、寒河江ダムにおいて洪水調節を実施しました。
寒河江ダムへの最大流入量は約４５２㎥/sで、洪水調節でダムにため込んだ水の総量（以下、「調節総量」とよびます。）は、約３０５万m^3に達しました。（東京ドームを容器とすると約２．５杯分）
この洪水調節により、寒河江ダムの下流河川の水位を約５９㎝低減させる効果があったものと推測されます。

今後しばらくの間、ダムからの放流がつづきますので、河川やダムの情報に注意してください。

※防災操作（洪水調節）：川の増水を少なくするため、ダムに流れ込む水を貯めて川の水の量を減量している状態です。

【発表記者会:山形県政記者クラブ】

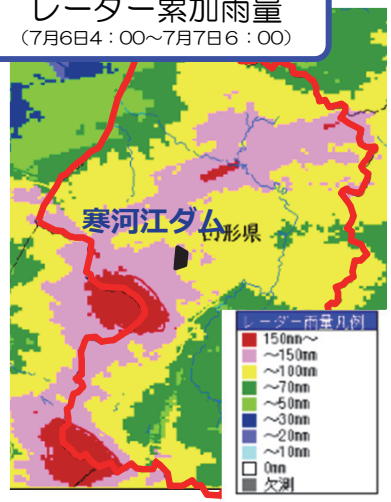
問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関１５８
副所長（技術）　大沼　敏治　（内線２０４）
調査課長　　村岡　章　（内線３５１）
電話　０２３７－７５－２３１１（代表）

出水速報　最上川水系　寒河江ダムの効果（ 平成28年7月6日からの降雨に伴う洪水 ）

○最上川水系寒河江川の寒河江ダム上流域において、７月６日４時頃から降り続いた雨は、７日6時までに　累加雨量　１２２mm　に達し、寒河江ダムでは　最大毎秒４５２m³（７月６日１７：１０）　の水が流れ込みました。
○今回の洪水期間中において、寒河江ダムでは　約３０５万m³（東京ドームで約2.５杯分）の水を貯め込み　、下流河川の水位の低下を図りました。
○寒河江ダムによって、下流河川の　西根地点（寒河江川下流基準地点）で約５９cmの水位を低減　させる効果があったものと推測されます。

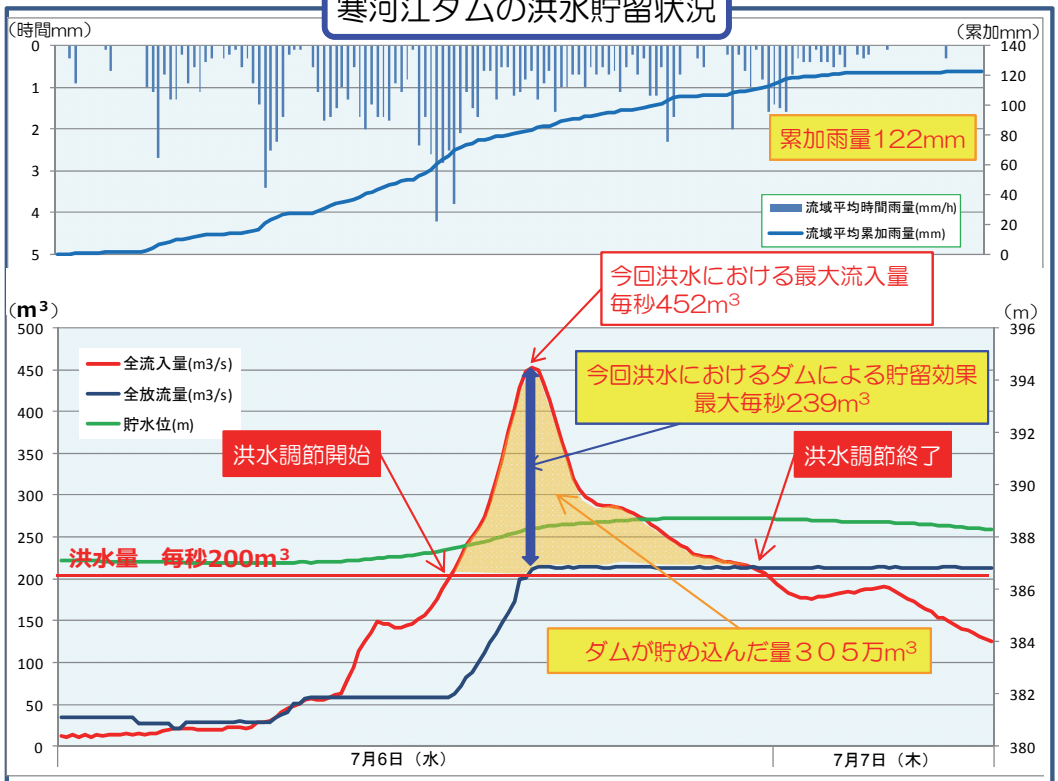
レーダー累加雨量
（7月6日4：00～7月7日6：00）



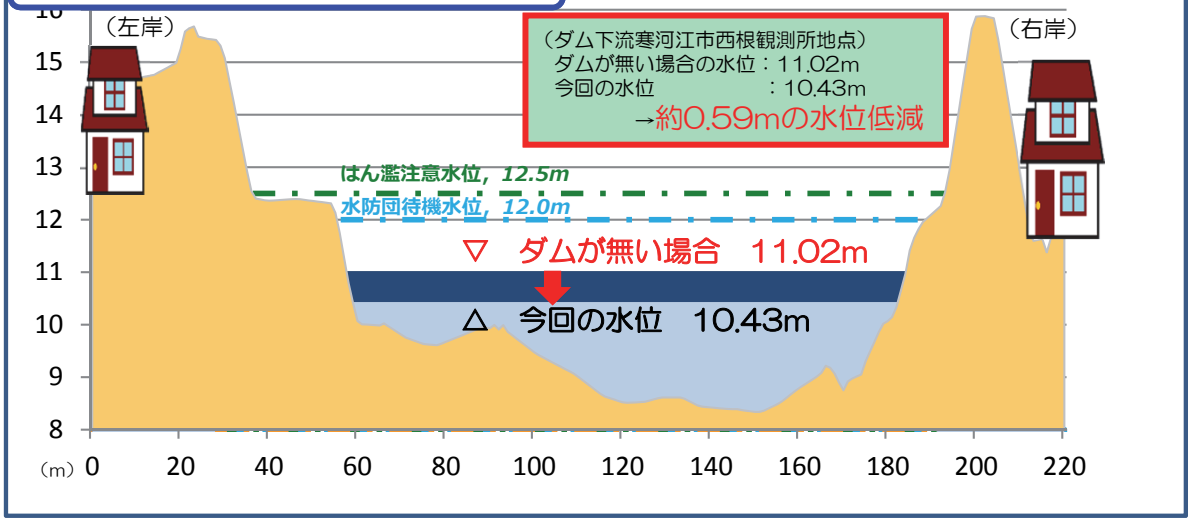
位　置　図



寒河江ダムの洪水貯留状況



寒河江川における水位低減効果



寒河江ダム貯水状況

